

国際ロータリー第2650地区
社会奉仕委員会
2025-26 年度事業報告集

国際ロータリー第2650地区
2025-26 年度
社会奉仕委員会

ご 挨 拶

このたび、2025-26 年度 国際ロータリー第 2650 地区社会奉仕委員会において、地区内クラブの皆さまが一年間にわたり取り組まれた社会奉仕事業を、一冊の報告集としてまとめることができました。ご多忙の中、事業報告書をご提出いただきました各クラブの社会奉仕委員長をはじめ、会員の皆さまに心より御礼申し上げます。

本年度、当地区は小崎学ガバナーのもと「未来へつなぐ」を基本方針に掲げ、それぞれのクラブが地域の課題に真摯に向き合いながら、多様な社会奉仕活動を実践されました。社会奉仕とは、目の前の課題を解決するだけではなく、人と人とのつながりを育み、地域に希望をもたらし、その想いを次の世代へ受け継いでいく活動でもあります。私たちロータリアンが積み重ねてきた奉仕の精神は、多くの人々との出会いを通して地域社会に根付き、未来へとつながっていく大きな力になると確信しております。

本報告集には、地域福祉、環境保全、防災支援、文化・伝統の継承、青少年育成、など、多岐にわたる活動が収録されています。それぞれの事業には、地域を想う温かい心と、会員の皆さまの行動力、そしてクラブの創意工夫が込められており、一つひとつが未来への架け橋となる素晴らしい実践であると感じております。

この報告集が、各クラブの今後の奉仕活動の参考となるとともに、新たな発想やクラブ間の交流を生み、さらなる社会奉仕の発展へとつながることを願っております。

結びに、この一年間、地域社会のために情熱を持って活動を続けてこられた各クラブの皆さまに深く敬意を表しますとともに、ご協力いただきましたすべての会員の皆さまに心より感謝申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

国際ロータリー第 2650 地区

2025-26 年度 社会奉仕委員会

諮問委員				
パストガバナー	佐竹 力總	(京都 RC)		
委員長	宮倉 靖幸	(五條 RC)		
副委員長	桐木 孝和	(京都洛西 RC)	副委員長	小牧 靖彦 (京丹後 RC)
委員	藤井 弘美	(近江八幡 RC)	委員	市原 洋晴 (宇治 RC)
委員	木村 元	(長浜東 RC)	委員	松村 美貴 (福井フェニックス RC)
委員	大島 國裕	(奈良 RC)	委員	寺本 光宏 (福井 RC)
委員	八木 悠祐	(京都北 RC)	委員	山崎 功詔 (京都西 RC)

目 次

【京都府】

綾部ロータリークラブ	…	1
福知山ロータリークラブ	…	3
福知山西南ロータリークラブ	…	なし
亀岡ロータリークラブ	…	4
亀岡中央ロータリークラブ	…	5
京丹後ロータリークラブ	…	6
京都ロータリークラブ	…	7
京都伏見ロータリークラブ	…	9
京都平安ロータリークラブ	…	10
京都東ロータリークラブ	…	11
京都東山ロータリークラブ	…	12
京都北東ロータリークラブ	…	13
京都イニングロータリークラブ	…	14
京都城陽ロータリークラブ	…	15
京都桂川ロータリークラブ	…	16
京都北ロータリークラブ	…	17
京都南ロータリークラブ	…	18
京都モーニングロータリークラブ	…	20
京都紫野ロータリークラブ	…	21
京都中ロータリークラブ	…	24
京都西ロータリークラブ	…	25
京都乙訓ロータリークラブ	…	なし
京都洛中ロータリークラブ	…	26
京都洛北ロータリークラブ	…	27
京都洛南ロータリークラブ	…	33
京都洛西ロータリークラブ	…	34
京都洛東ロータリークラブ	…	35
京都嵯峨野ロータリークラブ	…	なし
京都さくらロータリークラブ	…	36
京都西北ロータリークラブ	…	38
京都西南ロータリークラブ	…	42
京都紫竹ロータリークラブ	…	43
京都朱雀ロータリークラブ	…	44
京都田辺ロータリークラブ	…	46
京都山城ロータリークラブ	…	47
京都八幡ロータリークラブ	…	48
舞鶴ロータリークラブ	…	49
舞鶴東ロータリークラブ	…	50
宮津ロータリークラブ	…	なし
園部ロータリークラブ	…	53

宇治ロータリークラブ	…	58
宇治鳳凰ロータリークラブ	…	56
【福井県】		
福井ロータリークラブ	…	57
福井あじさいロータリークラブ	…	58
福井フェニックスロータリークラブ	…	59
福井東ロータリークラブ	…	60
福井北ロータリークラブ	…	64
福井南ロータリークラブ	…	65
福井西ロータリークラブ	…	67
福井水仙ロータリークラブ	…	68
勝山ロータリークラブ	…	69
丸岡ロータリークラブ	…	70
三国ロータリークラブ	…	71
大野ロータリークラブ	…	72
鯖江ロータリークラブ	…	73
武生ロータリークラブ	…	74
武生府中ロータリークラブ	…	77
敦賀ロータリークラブ	…	78
敦賀西ロータリークラブ	…	85
若狭ロータリークラブ	…	87

【滋賀県】

びわ湖八幡ロータリークラブ	…	89
五個荘能登川ロータリークラブ	…	90
東近江ロータリークラブ	…	92
彦根ロータリークラブ	…	93
彦根南ロータリークラブ	…	94
甲賀ロータリークラブ	…	95
湖南ロータリークラブ	…	96
草津ロータリークラブ	…	97
守山ロータリークラブ	…	98
長浜ロータリークラブ	…	なし
長浜東ロータリークラブ	…	100
長浜北ロータリークラブ	…	101
近江八幡ロータリークラブ	…	102
大津ロータリークラブ	…	103
大津中央ロータリークラブ	…	104
大津東ロータリークラブ	…	105

大津西ロータリークラブ	…	106
栗東ロータリークラブ	…	107
高島ロータリークラブ	…	108
野洲ロータリークラブ	…	109
八日市南ロータリークラブ	…	111

【奈良県】

あすかロータリークラブ	…	114
五條ロータリークラブ	…	115
平城京ロータリークラブ	…	なし
橿原ロータリークラブ	…	116
奈良ロータリークラブ	…	117
奈良中央ロータリークラブ	…	120
奈良東ロータリークラブ	…	121
奈良西ロータリークラブ	…	122
奈良大宮ロータリークラブ	…	123
桜井ロータリークラブ	…	124
大和郡山ロータリークラブ	…	125
やまとまほろばロータリークラブ	…	126
やまと西和ロータリークラブ	…	127
大和高田ロータリークラブ	…	129

【Eクラブ】

日本ロータリーEクラブ2650	…	なし
-----------------	---	----

報告者	役	職	: 社会奉仕委員会 委員長
	氏	名	: 仲江文男
	担 当 委 員 会 名	: 社会奉仕委員会	

事業名	第14回由良川クリーン大作戦		
実施日	令和8年5月9日（土曜日）	↑継続事業の場合	通年 年
実施場所	綾部市味方町綾部大橋河川敷交通公園含む		
協力団体	綾部高校分析科学部が主催に例会として参加（以前はロータリー独自で清掃作業後譲る）		
参加人数	会員	18 名	→ 会員参加率 66 %
	市民	332 名	
	その他	市内、市外含め、32団体 350人以上参加	
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

綾部市を流れる大切な由良川の清掃により環境保全に努める。
流域の企業、学校、住民と共に美化活動に取り組む。

事業結果

例年日曜日開催でしたが、主催者の都合により土曜日に変更に成りましたが、当日、32団体350人以上の（市外の学生含め）参加者がありました。



新聞、TV等での報道

事業予算	57,000	円
事業執行額	36,000	円
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

2025-26年度

綾部

ロータリークラブ

報告者	役職	: 社会奉仕委員会 委員長
氏名		: 仲江文男
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	綾部市災害基金積み立て事業				
実施日	令和7年7月1日 ~ 令和9年6月	↑継続事業の場合	3	年	
実施場所	例会日				
協力団体					
参加人数	会員	27	名	→ 会員参加率	100 %
	市民	0	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	綾部市内で災害が起きた場合に、共助として後方支援する。災害一回に付30万円限度に後方支援する事業 3年間に100万円の災害基金積立事業です。 会員一人 年12,000円積み立てて、3年で約100万円予定。				
事業結果	令和7年7月1日開始から令和8年6月5日現在、247,000円。				
新聞、TV等での報道	令和7年度はしていません、2年目の8年度は、綾部市民新聞に災害基金の積み立てをしていることの、広報を致します。				
事業予算	300,000	円			
事業執行額	6月現在進行中	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☒ その他				

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
氏 名		: 大山義道
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	親子きずな応援プロジェクト in 福知山2025				
実施日	2025年11月24日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	京都大呂ガーデンテラス（京都府福知山市大呂）				
協力団体	福知山市母子寡婦福祉会				
参加人数	会員	14	名	→→ 会員参加率	31.8 %
	市民	70	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	事業目的：ひとり親家庭の親の孤立感が軽減されるとともに、外出や肉類を摂取する機会が少ない親子に対し、心のケアにもつながり、親子の絆を深めることが期待される。また、本取組は福知山市母子寡婦福祉会の会長からも高く評価されており、同会にとっても、継続的な支援活動を行う上での大きな励みとなる。 事業内容：①グラウンドゴルフ、②パーベキュー、③将棋等の各種ゲーム（使用したゲーム等は福知山市母子寡婦福祉会へ寄贈）、④マジックショー、⑤〇×ゲーム（賞品として食材や生活必需品を提供）				
事業結果	今回の事業に先立ち、当クラブ例会において福知山市母子寡婦福祉会の代表に卓話をしていただき、会員がひとり親家庭の現状を知り、理解を深める機会となった。また、事業終了後の反省会には参加者の一部の方にもご参加いただき、その後、母子寡婦福祉会からお話を伺う中で、今回の事業により親子のきずなだけでなく、親同士や子ども同士の交流も深まり、距離が縮まったとの声をいただいた。さらに、寄贈したゲーム等はその後の活動でも継続的に活用されており、今回の事業は母子寡婦福祉会の今後の活動の参考になったとお言葉をいただくなど、高い評価をいただいた。  				
新聞、TV等での報道	地方紙（ラサンカ・朝日新聞・京都新聞・両丹日日新聞）				
事業予算	409,843		円		
事業執行額	411,967		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
氏 名 : 茨木勝治
担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	視覚障害者に対する理解と盲導犬の役割				
実施日	令和7年 10月5日	↑継続事業の場合		年	
実施場所	ガレリアかめおか2階 桜の間・つつじの間				
協力団体	亀岡市視覚障害者協会・公益財団法人 関西盲導犬協会				
参加人数	会員	18	名	→ 会員参加率	58 %
	市民	153	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	亀岡市内小学生3年生から6年生までを対象に、視覚障害とはどのようなものをわかりやすく伝えとともに、視覚障害者の生活を支える「盲導犬」の役割について学ぶ体験型プログラム				
事業結果	障害者への理解と配慮の心が生まれた 誰もが安心して暮らせる社会のために自分にできることを考える機会となった 児童の道徳性や社会性の発達に寄与できた				
新聞、TV等での報道	・京都新聞社丹波版 ・地元ケーブルテレビ (ZTV) によるテレビ放映 				
事業予算	511,392	円			
事業執行額	511,392	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 六嶋洋道

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	2025年青葉学園交流事業				
実施日	2025年12月7日	↑継続事業の場合	4	年	
実施場所	亀岡アルプラザボウリング/菜根香（中華料理）				
協力団体	チーム亀岡中央				
参加人数	会員	10	名	→→ 会員参加率	77 %
	市民	38	名		
	その他	チーム亀岡中央 4名			
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	青葉学園の子供達とボウリン・食事を通じて、子供達と地域社会とのつながりを一緒に楽しむ				
事業結果	多くの子供達、職員の皆様とボウリング・食事・プロのマジシャンのマジックショーを通じて交流を深める事が出来ました。 所在地域の青葉学園様との絆、社会奉仕、青少年奉仕を目的に未来につながる持続可能な事業として引き続き継続してまいります。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	310,000	円			
事業執行額	304,970	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

2025-26年度

京丹後

ロータリークラブ

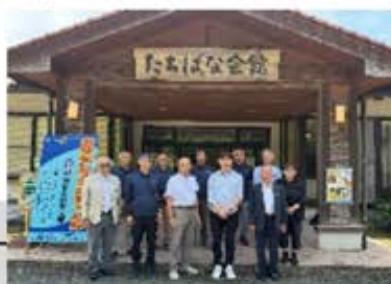
社会奉仕部門事業報告書

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
氏 名 : 山本勝憲
担 当 委 員 会 名 : 奉仕プロジェクト

事業名	おはなしフェスティバル				
実施日	2026年5月23日	↑継続事業の場合	4 年		
実施場所	たちばな会館				
協力団体	みかんの本文庫				
参加人数	会員	19	名	→→ 会員参加率	73 %
	市民	108	名		
	その他	子供56名 大人52名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				

事業目的及び事業内容

読み聞かせグループ“みかんの本文庫”の皆様へ大型紙芝居と人形劇を熱演して頂きます。ストーリーは大変わかりやすく、ユーモアと楽しさ、感激、社会での道德心の育成、そして皆様が明日に向かう勇気も頂けるものと確信しております。小さなお子様からお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんまで喜んで見て頂ける事業です。



事業結果

本年度は、おかしな詰め合わせを子供たちに無料でプレゼントを行いました。当日は天候にも恵まれ来場者数も多く、たくさんの子供たちの笑顔が見れました。



新聞

事業予算	269,000 円
事業執行額	265,610 円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☒ その他

報告者	役 職	: 社会奉仕委員会委員長
氏 名		: 佐々木 正子
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	社会奉仕委員会クラブフォーラム 「保護司の経験を通して学んだこと ― 具体的な事例を通して考える」		
実施日	2025年10月22日(水)	↑継続事業の場合	毎年度 年
実施場所	ホテルオークラ京都		
協力団体			
参加人数	会員 39 名 → 会員参加率 19 %	市民 名	
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都RCでは地域社会を健全で豊かなものにするため、地域現状に対しての幅広い情報収集と理解を深める活動を継続しており、その一環としてクラブフォーラムでの講演が行われている。昨年度、青少年の非行の実態について警察のご担当者より実態と最近の傾向をお聞きする機会があったので、社会の陰の部分の問題点と解決策をより深く理解するために、今年度は犯罪に手を染めた人々の更生を図る活動を長年してこられた梶村健二先生に「保護司」活動の現状のお話を伺い、質疑応答を通して社会の抱える諸問題を明確化し理解を深める機会を設けた。		
事業結果	参加者は39人。 「保護司」は無給で、元犯罪者の更生をサポートするために、元犯罪者側の社会生活を考えて目立たないように活動する必要がある、そのために社会にその活動があまり知られていないのが現状である。大津での保護司殺害事件のように、命がけの部分もある大変ハードな奉仕活動である。我々の日常では知り得ない、問題を抱えた人々の生活環境や現状を知ることや、またそれらの人々をどのようにサポートしたら犯罪率が低下していくのか、長年の経験談を交えた講演をお聞きして、様々に知識を広め、考える機会となった。 犯罪者は改心しても刑務所にいる間に社会は変化し、仕事につけないなど更生するにも壁があり、周りからのサポートが必要な部分がある。 こうした現実を知るとともに、元犯罪者が立ち直るために周りの社会に求められているサポートを理解し、社会全体をより健全なものにするために必要な「奉仕の精神」を学ばせて頂いた点でも成果は大きかった。  		
新聞、TV等での報道	なし		
事業予算	120,000	円	
事業執行額	118,883	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	: 社会奉仕委員会委員長
氏 名		: 佐々木正子
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	スペシャルオリンピックス日本・京都鴨川チャリティートーチウォーク				
実施日	2026年5月17日（日）	↑継続事業の場合	約20	年	
実施場所	府立植物園北門前～鴨川河川敷～御池中学校				
協力団体	NPO法人スペシャルオリンピックス日本・京都				
参加人数	会員	15	名	→ 会員参加率	約8 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都RCでは皆が平等で豊かな、より良い地域社会の実現に寄与することを目的として、継続してスペシャルオリンピックス日本・京都のトーチウォークに参加している。知的障害のあるアスリート達を励まし交流することを通し、それぞれの持つ力を育み、よりよい社会性が身につくことを願い、広く地域社会にアスリート達への理解、協力を呼びかける活動を目指している。このチャリティートーチウォークは、スペシャルオリンピックス日本の認知度アップと、知的障害のある方々の活動支援を目的とし、トーチを持ったアスリートたちと参加者が一緒に鴨川を歩く事業。				
事業結果	京都府立植物園北門前で千容子会長のご挨拶、アスリートの開会宣言後、2本のトーチが点火され出発。 アスリートの方々や今主旨に賛同の各団体の皆様とともに鴨川の両岸に分かれ、約6km先のゴール、御池中学校までのコースを皆で歩くことを通し、交流を図り、沿道の人にも本活動の目指す目的への関心と理解を持ってもらうことを目的としている。 雲一つない真夏を思わせるような晴天の下、途中地点で各団体も続々合流し、最終的には総勢約200名で深瀬とゴールを目指した。 中野バスターガバナーにもご参加いただき、閉会式では千容子会長よりアスリートへの激励の言葉が寄せられた。開催間近の種目の選手たちの紹介もあり、参加者全員から激励のエールを送り、閉会となった。 天候に左右される活動であるが、継続することで社会の理解が進み、スポーツを通じて知的障害のある方々の社会参加を応援する「スペシャルオリンピックス」に、一層の関心が高まる事を願う。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	0	円			
事業執行額	0	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☒ その他				

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 植本宏志
	担 当 委 員 会 名	: 社会奉仕委員会

事業名	みんな集まれ！呉竹祭り				
実施日	2025年9月30日	↑継続事業の場合	年		
実施場所	京都市立呉竹総合支援学校				
協力団体					
参加人数	会員	41	名	→ 会員参加率	45.56%
	生徒		名	%	
	その他 京都市立呉竹総合支援学校 生徒及び教職員				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	一方的に支援するのではなく、求められている事をよく聞き、可能な限り支援する。児童と関わる奉仕事業とし、会員本人に奉仕に対する意識付けを目指します。 大型ブルーやマット、測域センサーなどの教育の過程で必要で、且つ長く使えるものを寄贈します。寄贈品を使い児童と一緒に活動する事によってコミュニケーションを図りながら関係性の向上も同時に目指します。				
事業結果	会員の半分参加頂き、児童と様々な形で関わる事が出来ました。また地域に呼びかけ着ぐるみをお借りし、祭りに参加してもらったことで児童も大いに喜んでくれました。今回の事業をきっかけにより地域との関係性強化に結び付ける事が出来ました。				
  					
新聞、TV等での報道	京都新聞社に来て頂き、当日の様子を10/9の朝刊で取り上げてもらう事が出来ました。				
事業予算	750,000	円			
事業執行額	651,094	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 幹事

氏 名 : 坂口 明子

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	京都平安ロータリークラブ 障害者スポーツ体験会		
実施日	2025年9月14日（日）	↑継続事業の場合	3 年
実施場所	京都市障がい者スポーツセンター		
協力団体	京都府フロアバレーボール協会		
参加人数	会員 15 名	→ 会員参加率	83 %
	市民 30 名		
	その他 府外より40名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障がい者スポーツ体験会を開催し、フロアバレーボールなどの競技を実際に体験していただきました。日頃は障がいのある方と接する機会が少なく、「どう関わればよいのか」と不安を感じる方も多い中、スポーツを通じて自然に交流できる貴重な場となりました。まだ認知度の高い分野とは言えませんが、この体験をきっかけに障がい者スポーツの魅力を知り、理解を深めていただくことを目的として本事業を実施しています。		
事業結果	今回の「障がい者スポーツ体験会」では、フロアバレーボールを体験していただきました。実際にプレーしてみると、選手の皆さんの熱気と迫力は「障がい」という言葉を忘れるほどで、その競技性の高さに多くの参加者が驚かされていました。 この体験を通じて、競技の大変さや面白さを知っていただく良いきっかけになったと感じています。障がい者スポーツの一つとしてフロアバレーボールがより広く周知されるよう、今後も本事業を継続してまいります。 また今年は、京都のフロアバレーボールチームの皆様へユニホームを寄贈し、活動を応援する取り組みも行いました。今後は、より多くの地域の方々に参加いただけるよう、事業の充実に努めてまいります。		
			
事業予算	400,000	円	
事業執行額	601,574	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役	職	: 社会奉仕委員長
氏	名		: 宗本 順三
担当委員会名	: 社会奉仕委員会		

事業名	京都東ロータリークラブ創立70周年記念事業「公開文化塾～プロフェッショナルがいざなう伝統文化～」		
実施日	2026年 2/22 3/15 4/11 3回開催	↑継続事業の場合	年
実施場所	表千家北山会館／京都観世会館		
協力団体	表千家北山会館		
参加人数	会員 100 名	→ 会員参加率 約 30 %	
	市民 579 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都東RC地区に本拠を置く世界的な伝統文化（能楽、食と酒、茶の湯と工芸）を支えているプロフェッショナル技能者（能楽師、酒・食の生産者、家元、千家十職など）に語ってもらい、その真髄に触れてもらう機会を若者や市民に提供する。参加した市民が、京都の伝統文化を奥深い魅力を肌で感じるとともに、知識化して広く伝えてゆく礎となる。また外部から参加した人も、京都らしさを成り立たせている伝統文化とそれを支える技能者を知る機会となる。 第1回演題「京の食文化とそれを支える水」第2回演題「茶の湯の道具 使う人 作る人」 第3回 能「鞍馬天狗」公演～片山九郎右衛門がいざなう能の世界～ 3回開催		
事業結果	京都東RCの地区のみならず、広く京都市民に現代に生きる伝統文化の受け継がれてきた「心」「技」、その背後にある深い底流をなす経験や技能、感性から得られる暗黙知を垣間見ることによって、情報化社会では得にくい体験ができ、特に若い世代に素晴らしい体験機会を提供するが事できた。京都の伝統文化の表層は、メディアに載って世界中に広がってはいるが、その一方で、本当に文化を支える日本人は細る一方であり、日本人といえどもそれほど本物に触れる機会は多くない。このような機会をできるだけ設けることにより、継承者を社会に広く知ってもらい市民全体で文化を支援できることへの一助になった。 広く発信してゆくことにより、次世代への継承発展に寄与できた。		
			
事業予算	3,406,335	円	
事業執行額	3,406,335	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	: 奉仕プロジェクト医院長
	氏 名	: 郡 正樹
	担 当 委 員 会 名	: 社会奉仕委員会

事業名	【やましな！こども発見隊！】わたしが魅（み）つけたよ！やましなのステキ！				
実施日	2026年4月9日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	京都市山科区東部文化会館				
協力団体	京都市教育委員会 山科区役所 山科はぐくみネットワーク				
参加人数	会員	30	名	→ 会員参加率	50 %
	市民	85	名		
	その他	5名			
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	1.【やましな発見！はぐくみカルタ】山科区制50周年記念事業はぐくみネットワーク実行委員会の制作したカルタを使用する。小学生にカルタを通して楽しみながら歴史を学び、カルタ体験をしてもらう。 2.【がま口財布作り】京都の伝統的な生地を使用し【ものづくり】の大切さを理解してもらう。 3.【フォトコンテスト結果発表】募集したフォトコンテストの結果発表と作品の展示あるいは放映、最優秀賞、優秀賞、佳作他各賞の発表と受賞作品を含めた作品を公開する。 以上3点を柱にして1日で実施する事業とする。				
事業結果	【山科区制50周年記念事業の冠事業としての取組】 京都市東部文化会館で実施し、山科13学区の小学校より約50名の参加、保護者、関係者含め総勢100名で実施した。本事業では、山科区の歴史や文化、ものづくりの魅力を子どもたちに楽しく体験してもらうことができた。カルタ体験では、参加した子どもたちが積極的に札を取り合い、楽しみながら地域の歴史を学ぶ姿が見られた。また、がま口財布作りでは、京都の伝統文化に触れながら、ものづくりの楽しさや大切さを実感してもらう機会となった。 フォトコンテスト結果発表では、多くの作品が展示され、参加者や保護者からも好評を得ることができた。会場全体が終始和やかな雰囲気になり、参加者同士の交流も深まる有意義な事業となった。 当日は大きな事故やトラブルもなく、関係者・参加者の協力のもと円滑に運営することができた。子どもたちの笑顔が多く見られ、地域の魅力再発見につながる貴重な機会となったため、今後も継続的な地域交流事業として発展させていきたい。				
新聞、TV等での報道	新聞 山科市民新聞3月号掲載 広報誌 京都市広報誌 わくわくの扉2月号掲載				
事業予算	1,300,000		円		
事業執行額	1,312,781		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	:	委員長
氏 名	:	吉田昌司	
担当委員会名	:	社会奉仕委員会	

事業名	宝ヶ池公園 桜植樹プロジェクトVol				
実施日	2026年3月29日	↑継続事業の場合	3	年	
実施場所	宝ヶ池公園及びザ・プリンス京都宝ヶ池				
協力団体	北山街協同組合、京都市左京区土木みどり事務所				
参加人数	会員	10	名	→ 会員参加率	59 %
	市民	94	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
2023年度に宝ヶ池の森散策道に案内看板を設置、2024年度に宝ヶ池公園内に案内板設置、菖蒲園看板整備事業（地区補助金不申請）を行ってきました。その第三段として桜の植樹を行うことになりました。 樹木の植樹は、二酸化炭素の吸収量増加や土壌侵食の防止、水源の保護といった環境保全に寄与します。きれいな空気や土壌、水資源を維持することは地域住民の健康と生活基盤を支えることにつながるため、人々の暮らしを守る人道的な行為といえます。桜の景観が整備されることで、地域に人が集まりやすくなり、観光などの経済的な効果も生まれます。さらに、桜を中心として、互いの結びつきやコミュニケーションが活発になり、地域コミュニティの強化につながります。					
事業結果					
桜の植樹で公園の環境保全に貢献できました。お茶会を開催してたくさんの方にお花とお茶を楽しんでいただきました。宝ヶ池公園を中心としての新しい地域のコミュニティーが生まれ地域発展に貢献できました。					
					
					
新聞、TV等での報道					
事業予算	845,170	円			
事業執行額	845,170	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)		☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他			

報告者	役 職	: 委員長
	氏 名	: 中野 種樹
	担 当 委 員 会 名	: 奉仕プロジェクト委員長

事業名	暮らしランプ支援プロジェクト		
実施日	2025年9月11日(木)	↑継続事業の場合	年
実施場所	暮らしランプ「こきゅう+」		
協力団体			
参加人数	会員 6 名	→ 会員参加率	%
	市民 25 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

「こきゅう+」では障がい者がカフェ業務やアート・デザイン制作など就労を通して一人一人が自分たちの意思に合わせた役割を持ち、作業に取り組んでいます。今まで手作業で行っていたコーヒー粉の計測を自動計量器を導入することによって作業効率が上がり、障がい者のモチベーション向上につながります。ワークショップにおいて、暮らしランプの焙煎士や障害があるメンバーとともに複数の豆を試飲・比較しながら、ロータリアンと協力してブレンドを決定しオリジナルブレンドとして販売した。

事業結果

当日はコーヒー粉自動計量器の贈呈式後、ワークショップを開催し、ロータリアンと障がい者メンバーとともにオリジナルブレンドコーヒーを作りました。「地域とつながる活動」として多くの方に認知され、共に未来をつくるきっかけになったと実感しています。

新聞、



事業予算	198,170	円
事業執行額	198,170	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 石田勝也

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	寄贈モノメント等の掃除		
実施日	2026年5月30日	↑継続事業の場合	年
実施場所	城陽市役所前、文化パーク城陽他		
協力団体	なし		
参加人数	会員 16 名	→ 会員参加率	57 %
	市民 名		
	その他 1名 (会員家族)		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	京都市陽RCが過去に社会奉仕事業として市役所前等の公共施設にモノメント等の寄贈を行った。それらが経年により汚れたりしていたので、寄贈物の周辺を含め清掃を行った。また、京都市陽RCは創立56年を迎えるが、過去に行った社会奉仕事業を知らない会員も増えており、併せて当クラブの歴史を知る機会とした。		
事業結果	周辺を含めモノメントを掃除することできれいになった。それ以上に、半数以上の会員が参加し、会員歴の長い会員から寄贈した経緯や裏話なども聞き、クラブを理解するよい機会となった。		
新聞、TV等での報道	2026年6月6日、地元紙「洛タイ新報」に掲載された。 		
事業予算	0 円		
事業執行額	0 円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	: 委員長
氏 名		: 山本 拓生
担当委員会名		: 社会奉仕委員長

事業名	京都桂川ロータリークラブ杯バラスポーツ（ボッチャ）大会		
実施日	2025年11月29日（土）	↑継続事業の場合	4 年
実施場所	京都市立西総合支援学校 体育館		
協力団体	西京社会福祉協議会、障害者スポーツ振興会		
参加人数	会員 10 名	→ 会員参加率 25.6 %	
	市民 60 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

バラスポーツである「ボッチャ」は年齢や性別、障がいの程度に制限されずに誰でも参加して楽しみ競い合うことが出来るスポーツであります。地域ではまだ未知のスポーツであるので認知に努め、障がい団体や支援学校に多くの参加を呼びかけ啓蒙・普及に寄与し、参加者の交流、親睦を深める。

事業結果

今回4回目になる大会ですが、西京社会福祉協議会と京都障害者スポーツ振興会の協力のものと、8箇所の障害福祉施設より10チームの、手話通訳、付き添いの家族を含め約80名程の参加で開催されました。

11月下旬ともなると、体育館の中は冷えます。参加者の健康状態など気になりましたが、皆さん元気に動き、笑い、大いに盛り上がりました。ボッチャというスポーツは、初めて体験される方が多く、ルールの説明の後にすぐにゲームが開始されるのですが、不思議と盛り上がります。各コートで歓声が上がり、皆さん時間と共に競技に熱が入り楽しんでいただけたかと思います。閉会式では、優勝チームと準優勝チームをはじめ、参加者全員に障害施設が生産しているクッキーなどを副賞や参加賞として贈呈しました。回を重ねるごとに反省点や改善点も出てきており、協力団体や参加者も年々熱心になっており、やりがいを感じる大会へと育ってきたように思います。



事業予算	431,758	円
事業執行額	414,086	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役	職	:	社会奉仕委員長
	氏	名	:	角田龍平
	担	当	委	員
	会	名	:	社会奉仕、職業奉仕、 青少年奉仕委員会

事業名	子ども塾2025 絶滅危惧種の動物を知ろう～飼育員さんのお仕事も学んじょう～				
実施日	2025年10月25日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	京都市動物園				
協力団体	京都市、京都新聞、KBS京都テレビ				
参加人数	会員	23	名	→	会員参加率 38 %
	市民	109	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	参加した子どもたちに絶滅危惧種の動物及び飼育員の仕事の内容を知ってもらい、地域社会において大人と子どもが地球環境保護及び動物園の役割の重要性について認識を共有することを事業目的としました。 事業内容は、4班に分かれた子どもたちが、園内に設けた10か所のチェックポイントを周り、会員から10種の絶滅危惧種に関するレクチャーを受け、クイズに答えてスタンプを集めるスタンプラリーを行うと共に、動物園のバックヤードで飼育員から仕事の内容を学びました。				
事業結果	子どもたちにとって「絶滅危惧種を知る」という切り口で動物を観察するという体験は新鮮だったようで、会員による各動物の説明に熱心に耳を傾けていました。また、普段観ることのできない動物園のバックヤードで飼育員から仕事の内容を学び、知的好奇心を刺激されて目を輝かせる子どもたちの姿が印象的でした。 				
新聞、TV等での報道	イベント当日のKBS京都テレビのニュースと翌朝の京都新聞朝刊でイベントの様子が報じられました。  				
事業予算	1,018,882	円			
事業執行額	1,018,882	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長
氏 名 : 川崎 照晃
担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	付き添い入院家族支援				
実施日	2025年7月～2026年6月		↑継続事業の場合	2	年
実施場所	京都府立医科大学 小児医療センター				
協力団体	認定NPO法人キープ・スマイリング				
参加人数	会員	66	名	→ 会員参加率	25.6 %
	市民	6	名		
	その他 延べ参加人数: 会員 75名、青森RC 4名、小田原RC 3名				

事業分野 ☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他

事業目的及び事業内容

京都府立医科大学の小児医療センターで長期入院中の患児に24時間付き添うご家族へ、京都南RC会員企業が提供する美味しくて、栄養バランスのとれた、季節を感じられるお弁当とお菓子とお届けするとともに、共同事業として青森RC・小田原RC両姉妹クラブから特産のお菓子を提供いただきお届けした。また、病棟内でミニコンサートを開催し、入院中の親子が少しでも笑顔に、そして元気になっていただけるようご奉仕させていただいた。

事業結果

【ミールサポート】

京都府立医科大学小児医療センターで長期入院中の患児に付き添うご家族へ、飲食関連の会員企業ご提供のお弁当とお菓子と姉妹クラブ提供のお菓子を7月から6月まで毎月1回、合計12回お届け。ご家族から沢山の感謝と心温まるメッセージをいただきました。

【初夏の癒しコンサート】

患児とご家族に、心の癒しを感じていただければと、演奏に「Le Collage」の皆様をお迎えし、優しい音色で心温まる演奏と、楽しいプログラムを披露していただきました。



新聞、TV等での報道

なし

事業予算	1,500,000	円
事業執行額	1,464,503	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : 委員長
氏 名 : 川崎照晃
担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「まあいいかCafe」				
実施日	2025年11月30日(日)、2026年3月8日(日) ↑継続事業の場合 2 年				
実施場所	ムッシュいとう「SALA LUCE」				
協力団体	まあいいかlaboきょうと				
参加人数	会員	40	名	→ 会員参加率	15.5 %
	市民	145	名		
	その他 会員家族等10名、ローターアクト会員10名、認知症当事者キャスト15名				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	「まあいいかCafe」とは、認知症の人がホールスタッフを務める注文を間違えても、誰も腹を立てたり、不快に思ったりすることなく、その場にいる皆が笑顔で楽しい気分になれる、とても素敵なレストランです。認知症の方に、働くことや人の役に立つことの喜びを、来店者には間違えることを受容する寛容の心の大切さを味わっていただきます。京都南ローターアクトクラブとの共同事業として実施しました。				
事業結果	まあいいかlaboきょうと様との共催で、認知症の方がホールスタッフを務める「まあいいかCafe」を2回にわたり開催しました。京都南ローターアクトクラブ会員の協力もあり、認知症の方が生き生きと働かれる姿や、その様子を温かいまなざしと笑顔で見守る来場者や支援ボランティアの皆様が生み出す、とても素敵な空間と時間を楽しむことができた事業でした。				
新聞、TV等での報道	なし				
事業予算	300,000	円			
事業執行額	251,900	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				



報告者	役職	: 奉仕プロジェクト委員長
氏名		: 前田純一
担当委員会名		: 奉仕プロジェクト委員会

事業名	就労支援所 たんぽぽハウスへの支援				
実施日	2025年11月27日	↑継続事業の場合	25	年	
実施場所	たんぽぽハウス事務所				
協力団体	無し				
参加人数	会員	4	名	→→ 会員参加率	11 %
	市民	0	名		
	その他 たんぽぽハウス関係約10名				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	長年継続して支援している就労支援所・たんぽぽハウスに対して、今年度も内容を協議の上、伊根方面にスタッフが小旅行する費用の一部補助を行った。				
事業結果	たんぽぽハウスのスタッフが小旅行に出かける事により、ハウス内のコミュニケーション向上とともに、明日からの作業への活力向上への一助になったと確信する。 				
新聞、TV等での報道	特になし				
事業予算	150,000	円			
事業執行額	150,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役	職	:	幹事
	氏	名	:	浮田 徹
	担 当 委 員 会 名	:	社会奉仕	

事業名	時を経たラジオ塔を未来へつなぐ事業				
実施日	2025年10月19日他		↑継続事業の場合	年	
実施場所	京都市北区 船岡山公園				
協力団体	京都市、船岡山公園オープンパークFUNAGORA ラジオ体操クラブ 紫野高校吹奏楽部				
参加人数	会員	35	名	→ 会員参加率	83 %
	市民	300	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都市北区にある史跡「船岡山公園」の石造りのラジオ塔は、ラジオ放送普及のため全国に設置されたもののひとつであり、昭和10年から、戦前、戦後と時代を超え多くの情報を地域住民に伝えてきた。ラジオ放送という主要な役割を終えた後も、地域のラジオ体操クラブによって毎朝のラジオ放送が流されるなどそれなりに利用されてはいたが、傾き、長年の垢を纏い古ぼけた史跡のような様相となっていたところである。ここで、2025年がラジオ放送開始より100年の記念すべき年であることをきっかけとして再整備し、地域の交流や日常的な活動のシンボルとして再生すべく行われた事業である。 ラジオ塔の傾きの修正と、傍のベンチやモダンな意匠の欄干、噴水周りも含め全面的に洗浄を施し、みちがえる美しさを取り戻しました。去る10月19日には、市長ほか地域の皆さまにご参加いただき除幕式を行いました。地元紫野高校ブラスバンド部の演奏が華を添えていただき大変良い式典とすることができました。 京都紫野RCは、ラジオ塔が末末まで、地域の活動のシンボルとなることを願っています。				
事業結果	 				
新聞、TV等での報道	後日京都新聞において記事として掲載された				
事業予算	2,270,000	円			
事業執行額	2,267,997	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕理事

氏 名 : 福田幸治

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	令和8年第61回京親協はたちを祝うつどい 協賛及びクラブ員参加		
実施日	2026年1月12日	↑継続事業の場合	44 年
実施場所	京都テルサ		
協力団体	京都市、京都障害児者親の会協議会		
参加人数	会員 26 名 市民 100 名 その他	→ 会員参加率 62 %	
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	障がい者の方々の20歳を祝う特別な機会「第60回京親協はたちを祝うつどい」に奉仕することにより、はたちを迎えられたご本人たちを祝い、ご家族、ご支援されている皆様が感謝を感じられる場を一緒につくる。その事によりインクルーシブな社会実現に貢献する。 事業内容 ①お祝いの品の用意 ②クラブ会長からのお祝いの品贈呈、祝辞 ③クラブ員参加によりお祝いをし、お祝いの品贈呈準備、贈呈サポートを行う		
事業結果	はたちを迎えた13名（保護者等付添人25名）のお祝いを多くの参加者とともにいった。出席できなかったはたちを迎えた方5名と合わせ18名にお祝い記念品を贈呈、当日出席された方々には、ひとりずつ手渡しにて贈呈するとともにお祝いの言葉を伝えた。主催者の京親協はたちを祝うつどい実行委員会から「本人が温かい励ましや祝福を受けることにより、多くの方々の見守りや支えがあることを認識されるとともに、社会人として新たな心構えを持つ機会となった」と事業成果報告頂いた。		
新聞、TV等での報道	 		
事業予算	103,000	円	
事業執行額	102,740	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	:	幹事
	氏 名	:	浮田 徹
	担 当 委 員 会 名	:	社会奉仕

事業名	賀茂曲水宴の支援		
実施日	2026年4月12日	↑継続事業の場合	33 年
実施場所	賀茂別雷神社 渉溪園		
協力団体	賀茂別雷神社、賀茂曲水宴保存会		
参加人数	会員 10 名	→ 会員参加率	23.8 %
	市民 300 名		
	その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		

事業目的及び事業内容

古来中国から渡ってきたという貴族の遊びが由来とされている。賀茂別雷神社でも古くから行われてきたものであったが、33年前に京都紫野ロータリークラブの支援などで復活し、毎年継続して開催されている文化的催しである。雅楽の奏でられる中、斎王代の陪覧のもと当代一流の歌人により和歌が詠まれ、冷泉家時雨亭文庫により披講される。京都紫野ロータリークラブは、開催のためのご奉仕と、社会奉仕理事が奉行後見として参列、会員は観覧席よりそれを見届けるものである。

事業結果

今年度は33回目の協力となり、晴天のもと滞りなく催された。
一般の観覧は今年度も立ち見の出るほどであった。



新聞、TV等での報道

翌日の京都新聞にて内容が掲載された。

事業予算	100,000	円
事業執行額	100,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 :

氏 名 : 濱吉美穂

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	認知症のひとと家族の会主催「家族が学ぶ認知症のこと」連続講座参加者への支援			
実施日	2025年8月5日、9月22日、10月7日、 11月10日、12月9日、1月19日、2月9日 それぞれ、13:00-15:00	↑継続事業の場合	1	年
実施場所	佛教大学二条キャンパス			
協力団体	認知症のひとと家族の会			
参加人数	会員 1 名 → 会員参加率 0.03 %	市民 述べ140 名 その他		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他			
事業目的及び事業内容	2025年には65歳以上人口のうち5人に1人が認知症になるという推計値がでており認知症はもはや他人ごとではない。いつ、当事者となるか分からない認知症について、自分ごと、家族のこととして捉え、認知症についての正しい知識を知る人を増やす活動を京都中ロータリーとして支援する事はとても意義のある事である。認知症のひとと家族の会が主催する連続講座に参加する人達への支援をする事で、我々会員も認知症に関心を持ち、認知症の人でも安心して暮らせる社会づくりに貢献できると考える。 具体的には、認知症のひとと家族の会の会員さんと連続講座参加者へのドリンク提供支援を行うことで京都中ロータリーが心を寄せて支援し我々ロータリアンが認知症を理解しサポートする意思を伝える。			
事業結果	述べ140名程度の参加者に、京都中ロータリークラブのタグをつけたドリンク支援を行う事で、京都中ロータリーが支援しているという意思を伝える事ができた。認知症の方を介護される家族は日々心身共に負担が大きい、このような会で学びあい、話をしあうことで心理的負担を軽減させることができる。話し合いの際に、提供したドリンクがうれしかったとお声を沢山いただいた。また、ロータリークラブがこれからも支援をしてくださるという事への感謝の思いも沢山伺う事ができた。  			
新聞、TV等での報道	なし			
事業予算	23,500	円		
事業執行額	8,527	円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他			

報告者 役 職 : 委員長
氏 名 : 武田 敏也
担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	「嵐山プロギング」			
実施日	2025年11月30日	↑継続事業の場合	4	年
実施場所	嵐山から松尾大社間の桂川河川敷			
協力団体	一般社団法人プロギングジャパン			
参加人数	会員	30	名	→ 会員参加率 31 %
	市民	25	名	
	その他	20	名	京都外国語大学・京都西ローターアクトクラブ
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他			

事業目的及び事業内容

嵐山地域の自然環境保全を目的とした清掃活動を、単なるゴミ拾いではなく「プロギング」という新しいスタイルで実施することにより、参加者の健康増進とコミュニケーションの促進を図り、地域住民や観光客に環境保全への関心を高める機会とする。

また、京都西ロータリーと提唱ローターアクトクラブとの共同事業として連携を深め、世代を超えた相互理解を深め、次世代育成と地域貢献を同時に進める。

主催：京都西ロータリークラブ
共催：京都外国語大学ローターアクトクラブ、京都西ローターアクトクラブ

事業結果

本活動は今年度で4年目の開催となる継続事業であり、観光地域である嵐山～松尾大社周辺において実施した。

地域住民や若い世代との交流の場となり、京都西ロータリークラブおよび提唱ローターアクトクラブの認知向上と連携強化が図られた。

異なる世代がともに汗を流すことで、相互理解の促進、次世代育成、地域貢献が同時に実現する機会となった。

当日は嵐山「中の島公園」において、待機メンバーでポリオ撲滅募金活動を行った。
(募金活動総額 58,547円)

新聞、TV等での報道

当日の活動が2025年12月1日の京都新聞朝刊に掲載された。



事業予算	600,000	円
事業執行額	508,534	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長

氏 名 : 櫻井 啓孝

担当委員会名 : 奉仕プロジェクト

事業名	私が知らない私に会いに行こう ～能登半島地震『心の復興』支援プロジェクト～		
実施日	2025年10月25日（土）～26日（日）	↑ 継続事業の場合	年
実施場所	龍谷大学 大宮キャンパス、開法会館		
協力団体	七尾RC、鵬学園IAC(石川県)、龍谷大学付属平安高等学校IAC、京都府立高校の教諭・生徒		
参加人数	会員 32 名	→ 会員参加率 43 %	
	市民 37 名		
	その他 IAC39名、RAC8名 合計116名		
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	能登半島地震で被災した高校生（鵬学園高校IAC・提唱クラブ七尾RC）を京都市へ招待し、京都の高校生と共に学び、本事業プログラムを通じて、再び前を向いて生きる力を取り戻すこと（心の復興支援）及び未来を担う高校生が将来に希望と自信を持つことを目的とする。 第1部：植松努氏 講演会「どうせ無理」から「こうしてみたら？」考える自己開発。 第2部：自分を知り、社会を知り、自立する 私の『わくわくエンジン』発見プログラム		
事業結果	被災地である石川県七尾市の鵬学園高校IAC生徒8名を京都に招き、龍谷大学付属平安高校IAC、京都府立・市立高校の在校生、保護者、教職員、当クラブ会員等、約100名が参加した。 初日は植松努氏による講演「思うは招く」を開催し、夢に挑戦する姿勢の大切さを学び、その後、「わくわくエンジン発見プログラム」やモルック大会を通じ、世代・地域を超えた交流を深めました。 2日目は避難所運営ゲーム（HUG）を実施し、災害時の協力と判断力の重要性を体験的に学びました。この事業を通じて、高校生一人ひとりが自分のこれからを考え、夢や目標に向かって踏み出すきっかけになったのではないかと思います。		
事業予算	3,044,380	円	
事業執行額	2,944,971	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役 職	:	委員長
	氏 名	:	杉山 俊定
	担 当 委 員 会 名	:	社会奉仕委員会

事業名	京都学生祭典への協賛				
実施日	2025年10月2日(木)		↑継続事業の場合	4	年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場				
協力団体					
参加人数	会員	64	名	→ 会員参加率	92.75 %
	市民	2	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	2003年から毎年10月に平安神宮前・岡崎プロムナード一帯にて繰り広げられ、来場者数が10万人を超える京都市の文化の中心地 岡崎地域で行われる一大イベント。京都市の人口の1割を学生が占める学生のまち・京都ならではの大学生だからできる、学生プロデュースのお祭りである京都学生祭典に協賛金を贈呈した。				
事業結果	2025年10月12日(日)平安神宮前 岡崎プロムナード一帯で開催され、多くの参加者・来場者があった。 				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長
氏 名 : 杉山 俊定
担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	社会福祉法人京都いのちの電話へ寄付金贈呈				
実施日	2026年2月26日(木)		↑継続事業の場合	4	年
実施場所	ホテルオークラ京都例会場				
協力団体					
参加人数	会員	59	名	→ 会員参加率	86.76 %
	市民	5	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	「24時間 眠らぬダイヤル」自殺予防を目的として生まれた運動を、年中無休 24時間体制で、年間約18,000件受けている相談員の一助となるべく、資金ボランティアとして寄付を行った。				
事業結果	例会に、京都いのちの電話の事務局長にご出席いただき、例会出席者に「いのちの電話」活動への話をいただき 寄付を行った。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役職	: 委員長
氏名		: 杉山 俊定
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	2026年カレンダー寄贈				
実施日	2025年末～2026年始	↑継続事業の場合	5	年	
実施場所	ホテルオークラ京都例会場				
協力団体					
参加人数	会員	名	→	会員参加率	%
	市民	名			
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	介護老人施設の市原寮に入居されている高齢者が、きれいなカレンダーとともに2026年をすごしていただけるよう、会員よりカレンダーの寄贈をいただいた。				
事業結果	市原寮より 入居者のカレンダー購入の経済負担がなくなり、きれいな紙面のカレンダーで部屋が明るくなったと御礼の連絡があった。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役職	: 委員長
氏名		: 杉山 俊定
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	岡崎わいわい文化祭に事業費贈呈				
実施日	2026年1月15日	↑継続事業の場合	14	年	
実施場所	ホテルオークラ京都例会場				
協力団体					
参加人数	会員	59	名	→ 会員参加率	88.06 %
	市民	2	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				

事業目的及び事業内容

京都市の岡崎学区には、動物園、美術館、コンサートホールのある岡崎公園、平安神宮、琵琶湖疎水、別荘・別邸群とそれに付随する庭園があり、京都の文化施設が集中している。そのような地域の住民の方の歌や踊りなどの発表の場である「岡崎わいわい文化祭」に協力し、地域発展に寄与。またロータリークラブ会員の出演や資金援助で、ロータリークラブをより身近なものとして、岡崎学区の方に知っていただく。

事業結果

岡崎わいわい文化祭に関わったすべての参加者・来場者に、京都洛北ロータリークラブの事が周知できた。



新聞、TV等での報道

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役職	: 委員長
氏名		: 杉山 俊定
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	公益財団法人松ヶ崎立生会へ援助金贈呈				
実施日	2026年5月21日	↑継続事業の場合	3	年	
実施場所	ホテルオークラ京都例会場				
協力団体					
参加人数	会員	64	名	→ 会員参加率	95.52 %
	市民	2	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	京都の夏の風物詩で、伝統ある民俗行事である京都五山の送り火の一つの「妙法」は、創立時のテリトリーである松ヶ崎で行われている行事である。 当クラブのチャーターメンバーであった深見会員が住職をつとめておられたお寺は、松ヶ崎妙法送り火の起源として登場する涌泉寺であったので、1974年より、19年間、「クラブ名入りタオル」を送り火催行前に贈呈していた。長らくこの様な縁は途絶えていたが、創立時のテリトリーの松ヶ崎の伝統の一助となり、ご縁が復活できればと考え、贈呈をすることとなった。				
事業結果	チャーターメンバーで、2代目会長であった岩崎会員のご子息が当クラブに入会され、現在公益財団法人松ヶ崎立正会（妙法送り火保存会）の理事長を務めておられる。 伝統ある妙法送り火の保存活動には数々の問題があり（例えば、送り火点火のアカマツ割り木の確保、山の整備など）、寄付金を活用して保存活動に努めていただけた。				
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役	職	:	幹事
	氏	名	:	杉山俊定
	担	当	委	員
	会	名	:	社会奉仕委員長

事業名	こども写真ワークショップ（及び野外展示）				
実施日	①2026年3月1日、②2026年4月28日～5月6日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	①賀茂別雷神社（上賀茂神社）、②京都府立植物園内半木神社境内				
協力団体					
参加人数	会員	38	名	→ 会員参加率	52 %
	市民	3307	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	ユネスコの世界文化遺産に登録されている上賀茂神社を地元とする子供達に誇りや教養につながるワークショップを開催し、世界を舞台に活動するプロフェッショナルな写真家の技術指導をいただきながら、今は利用者が少なくなっている一眼レフカメラでの撮影で、携帯カメラでは得られない体験をしてもらい子供達のアートへの関心を引き出す。				
事業結果	子どもたちが地域の自然や文化に触れながら、自らの感性で「見る・感じる・表現する」体験を得る機会となりました。 参加した小学生や保護者からは多くの感謝の声が寄せられ、親子のコミュニケーション促進や、子どもの自己肯定感・創造性向上にもつながったものと考えています。また、展示会では、フリースクールに通う子どもたちが熱心に作品を鑑賞する姿が見られたほか、来場者から 地域にとって意義のある活動との評価をいただきました。 本事業を通じて、子どもたちの感性を育む文化芸術活動への地域理解が深まり、多世代が交流する機会の創出にもつながった。				
新聞、TV等での報道					
京都新聞掲載 KBS京都 ニュースで報道					
事業予算	1,384,993		円		
事業執行額	1,674,426		円		
この事業の主な財源 （複数回答可）	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 委員長

氏 名 : 北山 隆

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	『第2回京都洛南ロータリーカップ〜かるた大会』				
実施日	2026年2月21日（土）9：20～15：00		↑ 継続事業の場合	2	年
実施場所	京都市伏見区総合庁舎4F大会議室				
協力団体					
参加人数	会員	20	名	→ 会員参加率	76.92 %
	市民	210	名		
	その他	小学生、留学生、学生・地域ボランティア、ロータリー、米山奨学生、かるた大会事務局			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	目的：地域の小学生を対象に地元伏見区の名所旧跡をもとに作成された「伏見〜るかるた」を使用して大会を開催する。小学生から大人の方までどなたにも伏見区の名所旧跡を知ってもらうことにより、歴史の深い町、伏見に対する愛着を育んで頂きます。 事業内容：伏見の名所・旧跡が描かれたかるたを使って、かるたを1枚でも多くとった人が勝ちになります。2名ずつ対戦、10枚取ったら、組み合わせをして10回繰り返し、100点満点で競います。また5回繰り返ししたら、かるたを並び替えて再度対戦をする。飽きないように工夫している。団体戦と個人戦がある。準決勝〜決勝まで行う。大判かるたも別途行っている。				
事業結果	今回は2回目の開催であるが、昨年よりも多く126名もの参加があった。決勝まではお昼ご飯を挟んで長時間に及んだ。大会は大盛況であり、大成功でした。小学生低学年から学校や家庭以外の場に参加する事でマナーや協調性も育んでいただけたかと思えます。また地域住民の方にはロータリーの活動を認知してもらうことで将来のロータリアンを育成できる糧になったのではないかと思います。学生や地域のボランティアの方にも楽しんで参加頂き、地域住民との交流の場として提供出来た事嬉しく思います。    				
新聞、TV等での報道	NHK京都放送局から小学2年生の少女に密着取材をして頂きましたが、その子がたまたま決勝まで残ってしまった為、本来はもっとロータリー活動も取材頂くところが、時間的に我々は殆どテレビには映らなくなってしまい残念ではありました。2月25日のNHK京都放送局の6時のニュースに放映された。				
事業予算	864,840		円		
事業執行額	880,554		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	: 理事 社会奉仕委員長
氏 名	:	大島 嘉人
担当委員会名	:	社会奉仕委員会

事業名	小倉山特別地区・竹穂垣補修改善事業				
実施日	2025年9月20日	↑継続事業の場合	27	年	
実施場所	嵐山（小倉山景観保全地区）竹の小径				
協力団体	京都洛西RAC、嵯峨中学校、右京区役所、大河内山荘				
参加人数	会員	20	名	→ 会員参加率	40 %
	市民		名		
	その他 京都洛西RAC5名、嵯峨中学校教員生徒10名、右京区役所職員2名、会員家族2名				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	右京区嵯峨野の竹林の風景は世界に誇れるすばらしい資産であり、その景色を護る活動として、また竹林を護る事により生じるであろう様々な効果（竹藪の治安維持やロータリークラブの公共イメージの向上、クラブ会員同士の親睦など）も期待し、クラブ会員と協力団体が力をあわせ、毎年竹穂垣の補修改善作業や竹林内の倒竹、枯竹の清掃を実施しています。				
事業結果	今年は嵯峨中学校のバレーボール部の生徒さんや顧問の教員にご協力をいただきました。午前9時に集合して作業を始めましたが、既に多くの外国人観光客が訪れており、事故が起これないように注意しながら竹穂垣の補修改善を行いました。古い竹穂を奥に押しやり手前に出来た空間に新しい竹穂を足していきます。古い竹穂はいずれ朽ち果て竹藪に還ります。そのような自然の循環を利用した知恵に関心しながら作業を行いました。参加いただいた皆さんは熱心に作業をされており、奉仕事業への思いが伝わってきました。作業後は大河内山荘さまのご厚意で、庭園の見学とお茶を頂戴し、参加者の皆様は達成感に浸りながら疲れを癒しました。				
新聞、TV等での報道	9月22日の京都新聞朝刊（京都市地域）に記事が掲載されました。				
事業予算	290,000	円			
事業執行額	269,358	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				



報告者	役	職	: 理事
	氏	名	: 吉田直史
	担	当	委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	ありがとうロータリー未来へすべてに感謝 ～SDGsをスポーツを通して学び、衛生を保つ地域の地産地消～		
	2025年10月19日(日)	↑継続事業の場合	年
実施場所	MKボウル上賀茂、賀茂川上流周辺		
協力団体	ワイレールフットボールクラブ、鴨川を美しくする会、平安養育院、放課後クラブ251他		
参加人数	会員	10 名	→ 会員参加率 %
	市民	50 名	
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他		
事業目的及び事業内容	賀茂川上流周辺を清掃しながら歩き水域環境を学習した後、スポーツを通じてコミュニケーションの大切さ、BBQで食育を学び、日本の未来を担う子供達へ自然豊かで美しい京都を守って貰う事の大切さを学んでもらい同時に笑顔になってもらう事業。		
事業結果	参加者すべてが真剣なまなざしで学びコミュニケーションスポーツでは清々しい汗をかきBBQで食をまんだ笑顔が共有できる事業でした。今年度会長テーマのごとく【ありがとうロータリー】でした。  		
事業予算	735,190	円	
事業執行額	583,703	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役	職	:	幹事
	氏	名	:	中西良和
	担 当 委 員 会 名	:	社会奉仕委員会	

事業名	嵐山国有林除伐活動				
実施日	2025年10月18日	↑継続事業の場合	3	年	
実施場所	嵐山国有林				
協力団体	京都市産業観光局 森林振興林業振興課				
参加人数	会員	14	名	→→ 会員参加率	39 %
	市民	0	名		
	その他 会員家族（2名）				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	国有林を健全な未来に引き継ぐ為の森林整備、地域の環境保全を目的として実施いたしました。事前の打ち合わせにより対象場所を決定し、当日はあらかじめテープで目印がされていない樹木を刈り取る作業をしました。 傾斜地など危険を伴う場所もありましたが参加会員で約2時間の作業を実施し、終了のちには綺麗に整備された風景をみて達成感を感じました。				
事業結果					
新聞、TV等での報道					
事業予算	30,000	円			
事業執行額	30,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役	職	:	幹事
	氏	名	:	中西良和
	担	当	委	員
	会	名	:	社会奉仕委員会

事業名	子供達と楽しむ演奏会&楽器演奏体験				
実施日	2026年5月10日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	ANAクラウンプラザホテル京都				
協力団体	京都市子ども若者はぐくみ局子ども若者未来部				
参加人数	会員	33	名	→ 会員参加率	94 %
	市民	179	名		
	その他 会員家族・事務局・米山奨学生（1名）・京都市職員（1名）				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	プロ音楽家によるオペラコンサートの鑑賞して頂き生の音楽に触れて頂きます。また弦楽器体験では弦楽四重奏をお聞きいただいた後、プロの音楽演奏家立ち合いの下バイオリン等楽器に触れた演奏体験をして頂きました。 音楽鑑賞や楽器演奏体験をしていただくことで興味を持っていただくことと、楽器演奏を通じて楽しさや難しさを身近に感じていただき新たな可能性の入り口になることを目標に企画しました。				
事業結果	演奏会は親御さん、お子さんで179名の参加、楽器体験のお子様は3歳から18歳までを対象に定員いっぱいの60名が参加   				
新聞、TV等での報道					
事業予算	892,370		円		
事業執行額	892,370		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	: 奉仕プロジェクト委員長
氏 名		: 小藤田 峻
担当委員会名		: 社会奉仕

事業名	管弦と舞楽～ようこそ深遠な雅楽の世界へ 新たな魅力発見のひと時をご一緒に～				
実施日	2025年11月29日	↑継続事業の場合	年		
実施場所	ホテルオークラ京都				
協力団体					
参加人数	会員	13	名	→ 会員参加率	50.09 %
	市民	76	名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	本事業は、日本の伝統文化である雅楽の魅力を地域社会に伝え、次世代への文化継承のきっかけをつくることを目的として実施しました。 当日は、弥栄会による雅楽の演奏および舞楽を行い、あわせて雅楽の歴史、楽器、装束についての紹介や体験の時間を設けた。来場者が鑑賞するだけでなく、雅楽を身近に感じられる内容としたことで、伝統文化への理解と関心を深める機会となりました。				
事業結果	本事業には83名の方にご参加いただき、69名の方からアンケート回答をいただきました。雅楽を初めて鑑賞された方も20名おられ、普段なかなか触れる機会の少ない雅楽を身近に感じていただく機会となりました。また、全体評価では「とてもよかった」が53名、「よかった」が13名となり、参加者の皆さまから高い評価をいただくことができました。今回の事業を通じて、雅楽の魅力を伝えるとともに、日本の伝統文化への関心を深めていただく有意義な機会となりました。				
					
新聞、TV等での報道					
事業予算	892,700	円			
事業執行額	800,785	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役職	: 奉仕プロジェクト委員長
氏名		: 小藤田 峻
担当委員会名		: 社会奉仕

事業名	嵐峽の清流を守る会 河川清掃活動及び大堰川幼魚放流				
実施日	2025年9月7日 2025年11月12日		↑継続事業の場合	38	年
実施場所	渡月橋上・下流一帯の大堰川、桂川沿い				
協力団体	京都西南RC・桂川RC・嵯峨野RC、ライオンズクラブ、銀行、近隣幼稚園、嵐山保勝会他				
参加人数	会員	4	名	→ 会員参加率	9.09 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
本事業は、長年にわたり地域で親しまれている渡月橋上流一帯の大堰川・桂川の清流を守り、自然環境の保全と地域美化への意識を高めることを目的として実施しました。 当日は、大堰川・桂川沿いの清掃活動を行いました。また、地域の自然環境を守る取り組みとして、魚の放流も実施し、子どもたちや地域の方々に環境保全の大切さを感じていただく機会となりました。					
事業結果					
本事業では、渡月橋上流一帯の大堰川・桂川沿いにおいて清掃活動を行い、河川周辺の美化に貢献することができました。 また、魚の放流を通じて、地域の子どもたちや参加者に自然環境への関心を持っていただく機会となりました。複数の団体が協力して取り組むことで、地域全体で清流を守る意識を共有することができ、事業としての意義を改めて確認することができました。					
  					
新聞、TV等での報道					
事業予算	20,000		円		
事業執行額	20,000		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)		☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他			

報告者	役職	: 奉仕プロジェクト委員長
氏名		: 小藤田 峻
担当委員会名		: 社会奉仕

事業名	京都西北ロータリー文庫寄贈				
実施日	2026年3月11日	↑継続事業の場合	16	年	
実施場所	京都市立嵯峨小学校				
協力団体					
参加人数	会員	2	名	→ 会員参加率	9.09 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				

事業目的及び事業内容

本事業は、地域の子どもたちの読書環境を充実させ、豊かな心を育む一助となることを目的として実施しました。
京都市立嵯峨小学校へ文庫を寄贈し、児童が多くの本に親しみ、学びや想像力を広げる機会づくりを行いました。継続事業として16年にわたり実施しており、地域の学校教育を支援する取り組みとして行いました。

事業結果

京都市立嵯峨小学校へ文庫を寄贈し、児童の読書活動や学習環境の充実に貢献することができました。長年継続している事業として、学校とのつながりを深めるとともに、子どもたちが本に親しむきっかけづくりとなりました。今後も地域の子どもたちの成長を支える活動として、意義を確認する事業となりました。



新聞、TV等での報道

事業予算	50,000	円
事業執行額	50,000	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者	役職	: 奉仕プロジェクト委員長
氏名		: 小藤田 峻
担当委員会名		: 社会奉仕

事業名	右京ジュニア消防団への寄贈				
実施日	2026年2月19日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	ANAクラウンプラザホテル京都				
協力団体	京都市右京消防署				
参加人数	会員	13	名	→ 会員参加率	59.09 %
	市民	76	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
本事業は、地域の防災意識の向上と、次世代を担う子どもたちの健全な育成を支援することを目的として実施しました。 京都市右京消防署と連携し、右京ジュニア消防団の活動を支援するための寄贈を行いました。子どもたちが防災や消防活動への理解を深め、地域社会の安全を守る意識を育むきっかけとなるよう取り組みました。					
事業結果					
右京ジュニア消防団への寄贈を通じて、子どもたちの防災活動や学習機会の充実に貢献することができました。 また、京都市右京消防署との連携により、地域防災を支える取り組みとして実施することができ、子どもたちの成長支援と地域社会の安全意識向上につながる事業となりました。					
					
新聞、TV等での報道					
事業予算	50,000		円		
事業執行額	50,000		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役職	: 社会奉仕委員長
	氏名	: 小原弘也
	担当委員会名	: 社会奉仕委員長

事業名	第13回嵐山こども相撲大会				
実施日	2025年10月4日(土) 実施予定 雨天の為、中止		継続事業の場合	13	年
実施場所	例年、嵐山中之島公園で開催				
協力団体	京都府、京都市、京都市教育委員会、嵐山保勝会、京都相撲連盟、京都市立鳴滝総合支援学校				
参加人数	会員	49	名	→ 会員参加率	100 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				

事業目的及び事業内容

日本の伝統文化である相撲を通して、子供たちの育成に寄与することと地元嵐山の観光にも寄与する。

事業結果

第13回嵐山こども相撲大会は、雨天の為、中止となりました。



新聞、TV等での報道

事業予算	1,091,174	円
事業執行額	1,091,174	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : 理事

氏 名 : 中村 篤人

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	障害者スポーツが繋ぐ共生の未来		
実施日	2025年11月7日	↑継続事業の場合	年
実施場所	京都市立紫竹小学校 体育館		
協力団体	京都市障害者スポーツセンター		
参加人数	会員 15 名	→ 会員参加率 75 %	
	市民 35 名		
	その他 京都市北区社会福祉協議会		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	小学校の総合学習（共生授業）の一環として、パラアスリートの指導のもと一緒に車椅子バスケットを体験することで、共に助け合い、理解し合う大切さを学びます。パラアスリートとの交流、講演を通じて障害を持つ人との心のバリアを取り除く体験を通じて、未来の共生社会の担い手として成長するきっかけを与えます。この取り組みが、教育を超えて、地域全体へと広がることを目指します		
事業結果	紫竹小学校の小学5年生、約40名の生徒、また職業体験授業にきていた加茂川中学校の生徒にも参加してもらい、まずは当クラブ会長よりこの事業の趣旨、次いで車椅子やパラアスリートの手配をお願いした京都市障害者スポーツセンターの担当者から市内における障害者スポーツの現状などを説明してもらいました。 その後、講師のパラアスリートから車椅子の乗り方やボールを使った練習などのレクチャーを受け、チームに分かれて車椅子バスケットボールのゲームをパラアスリートの助けを借りながら行いました。 ゲーム後はグループに分かれて、各パラアスリートの体験談や質疑応答などを行ってもらいました。 当事業は、小学校での共生授業の一環として、障害者だけでなく様々な環境や立場にいる人たちとどう接したらよいか、社会としてどう考えていくべきかなどを学ぶいいきっかけとなったと考えます。 当事業では、協力いただいた障害者スポーツセンター様にバスケット用の車椅子を1台寄贈し、市内の障害者スポーツの振興に役立ててもらっています。 また後日例会に障害者スポーツセンター様のご担当者に卓話いただき、障害者スポーツセンターの活動や取り組みについての理解を会員で深めることができました。		
新	 		
事業予算	542,862	円	
事業執行額	542,862	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
氏 名 : 宇野明香
担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	子どもから高齢者までごちゃまぜが実現する持続可能なまちづくり（シンポジウム）		
実施日	2025.11.6	↑継続事業の場合	1 年
実施場所	キャンパスプラザ京都		
協力団体	NPO法人抱樸、京都市YS協会、京都市南区役所、唐橋自治連合会		
参加人数	会員 30 名 市民 78 名 その他	→ 会員参加率	75 %
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容			
NPO法人抱樸のきぼうのまちプロジェクトを参考に、京都市内に多様性にあふれる地域・ごちゃまぜな居場所づくりを行う。点在している社会福祉事業支援拠点を結び、当事者や当事者を取り巻く支援者も含め多様な人々が主役となるイベントやツールの導入を企画し地域をあげたネットワークをつくる。この企画を発端とし、今年度銭湯の壁絵プロジェクトにつなげ、さらに次年度にはヤギの飼育にを実施予定。3年計画を予定。			
事業結果			
キャンパスプラザ京都にてNPO法人抱樸の理事長奥田氏をお招きし、地域共生の価値を学び社会に発信、還元することを目的にシンポジウムを開催。京都市の後援を取得し、南区の区長や、一般の方、障がい者施設運営者、行政関係者など多岐にわたる属性の参加者を集め、多数の参加者（110名）が集い、共生社会の実現に向けた学びを深めることができました。			
新聞、TV等での報道			
事業予算	446,960	円	
事業執行額	329,460	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
氏 名 : 宇野明香
担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	子どもから高齢者までごちゃまぜが実現する持続可能なまちづくり(銭湯の壁絵プロジェクト)		
実施日	2026.5.2~5.3	↑継続事業の場合	1 年
実施場所	まちの銭湯「洛陽湯」		
協力団体	洛陽湯		
参加人数	会員 21 名	→ 会員参加率 49 %	
	市民 39 名		
	その他		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		

事業目的及び事業内容

障害の有無や子ども、高齢者を問わず、多様な人々が自然に交流できる地域を目指し、地域の人たちとともに、ごちゃまぜの社会を目指す交流拠点の象徴として、洛陽湯の看板を制作する。さらに、1年間の掲示を見据えてのれんのデザインも行い、今回の取組を長期的に発信する「ごちゃまぜな地域」を表現した壁絵(看板)を作成する。



事業結果

外で開催するイベントであったことから当日の天気によって左右される一面もあったが、なんとか無事に2日間開催することができた。一般の参加者の方々がとても積極的に参加してくださり、また京都新聞にも取材いただいたことによって、京都朱雀RCの主催イベントであることが紙面で紹介され、2日目の飛び入り参加もあった。完成した看板は銭湯の運営者の方や近隣のかたからもおおむね好評であり、ごちゃまぜな社会を表現できる壁絵に仕上がったと思う。のれんのデザインにもチャレンジし、毎年書き換えてほしいなどといった要望も直接聞けた。



新聞、TV等での報道

京都新聞による取材。
5/3朝刊に掲載。



事業予算	355,000	円
事業執行額	503,600	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 体験事業を	役職	: 社会奉仕担当
	氏名	: 石田光輔
	担当委員会名	: 奉仕プロジェクト

事業名	「砂場遊び」体験事業				
実施日	2026年8月28日		↑継続事業の場合		年
実施場所	京田辺市タナクロ				
協力団体	京田辺市教育委員会				
参加人数	会員	8	名	→→ 会員参加率	57 %
	市民	20	名		
	その他	15			
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				

事業目的及び事業内容

今年度も青少年を守り育て、地域社会に奉仕することを目標とし活動した。今年度は砂場遊び体験事業を企画し、幼児の非認知機能の育成を目指した。実際の活動として、田辺クロスパークの砂場に防暑用 TENT を寄贈、設置することと、大学の砂場遊びの権威に幼稚園児ならびに幼稚園教諭に砂場遊びを指導してもらうことを二本柱として計画を進めた。実施日は次年度5月の予定だったが、今年度の猛暑が予想されたため、子供たちの健康と安全を考慮して防暑用 TENT とベンチの設置を先行した。研修は次年度におこなう予定。

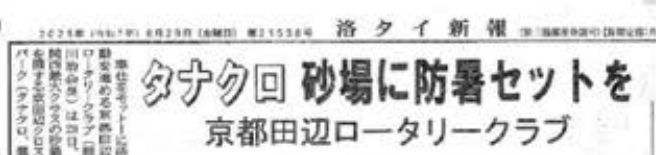
事業結果

設置した TENT、ベンチは、猛暑から来場者の身を守るのに役立っている。後半の研修の成果は次年度に評価する。



新聞、TV等での報道

洛タイ新報 (8/29掲載) 京都新聞 (9/4掲載)



事業予算	60万	円
事業執行額	57万	円
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他	

報告者 役 職 : クラブ奉仕

氏 名 : 脇田 武勝

担 当 委 員 会 名 : 社会奉仕委員会

事業名	外国人技能実習生支援プロジェクト				
実施日	2025年11月26日(水)		↑継続事業の場合	年	
実施場所	京都府立けいはんなホール				
協力団体					
参加人数	会員	10	名	→ 会員参加率	90 %
	市民		名		
	その他	ミャンマーからの技能実習生・各施設の職員			
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	ミャンマーからの技能実習生との交流・交歓 招待者と実習生の橋渡し				
事業結果	実習生との交流・懇談を通じ、相互の理解を深められた。 ロータリークラブが取り組むことで、国際交流が達成された。  				
新聞、TV等での報道	京都新聞・産経新聞に掲載された。				
事業予算	391,885		円		
事業執行額	391,885		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役 職	: 社会奉仕委員長
	氏 名	: 奥村照夫
	担 当 委 員 会 名	: 社会奉仕

事業名	野鳥を通じた自然環境保全と推進				
実施日	一年を通じて関連事業を実施		↑継続事業の場合	年	
実施場所	石清水八幡宮山上、三河合流背割堤一体、京都府立八幡支援学校他				
協力団体	日本野鳥の会京都支部、				
参加人数	会員	14	名	→ 会員参加率	95 %
	市民	65	名		
	その他	50名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	石清水八幡宮を中心に野鳥の会の協力を得て、年内を通して事業を展開した。環境保全のPRに努めた。 ①京都府立八幡支援学校との探鳥会 ②小学生親子を招いて巣箱作り ③三河合・背割堤一体にて、市民を招いてバードウォッチング ④八幡宮山上の野鳥看板にQRコード設置				
事業結果	①八幡市支援学校とは継続事業とする、京都府から愛鳥指定校の認定を得る ②巣箱は各人が設置して観察中であります ③市民参加でバードウォッチングをして、自然と親しみ、野鳥の会より説明を受ける ④QRコード設置と野鳥週間が重なり、報道関係が取り上げた。八幡市観光協会に多数の問い合わせがあった。NHKテレビ放送もされた。   				
新聞、TV等での報道	①～④各行事、京都新聞が掲載した。特に④においては、NHKでTV放送された。				
事業予算	380,000		円		
事業執行額	380,000		円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 奉仕プロジェクト委員長
氏 名 : 柿野剛清
担当委員会名 : 奉仕プロジェクト委員会

事業名	第40回 五老ヶ岳ロータリーの道登ろう会				
実施日	2026年5月17日	↑継続事業の場合	41	年	
実施場所	五老ヶ岳ロータリーの道および五老ヶ岳公園こども広場				
協力団体	後援：舞鶴市 協力：吹奏楽団ブルーマリNZ、FM舞鶴				
参加人数	会員	20	名	→ 会員参加率	76 %
	市民	200	名		
	その他	吹奏楽団25名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	舞鶴ロータリークラブのメイン事業です。舞鶴市のほぼ中心に位置する五老ヶ岳に登る登山道を市長を含め、多くの市民とともに登り、健康増進と環境保全の大切さを実感します。山頂では登り切った達成感を味わうとともに景色を眺めながら、2日前より会員が準備をした豚汁（250食）を振る舞い、食後は吹奏楽団ブルーマリNZによる演奏を楽しみ親睦を深めます。多くの市民に舞鶴の良さの再発見と舞鶴ロータリークラブの活動を知ってもらえる機会となります。				
事業結果	天候にも恵まれ全てのプログラムが実施できました。いろいろな世代の方々が約200名参加してくれました。41回目の開催ですが毎年楽しみに参加される方や初めての方も山頂で充実した笑顔を見せておられました。また今回、舞鶴市の後援を得たことにより広報まいづるや舞鶴メールでのPRが出来たことで事業の認知度が高まりました。				
新聞、TV等での報道	京都新聞に掲載。  				
事業予算	350,000	円			
事業執行額	240,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役職	: 社会奉仕委員長
氏名		: 川口 孝文
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	ロータリーの桜保守・整備事業				
実施日	2026年5月26（火）	↑継続事業の場合	11	年	
実施場所	主要地方道小倉西舞鶴線（28号）：通称 白鳥街道 森白鳥跨線橋 付近				
協力団体	さくらプラザグループ				
参加人数	会員	1	名	→ 会員参加率	3 %
	市民		名		
	その他	協力団体 5名			
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
事業目的：白鳥街道及び市道法面に山桜等を植樹し桜並木に育てる。 事業内容：桜並木の整備					
事業結果					
桜並木の下草刈り、樹幹の蔦除去及びゴミ回収並びに看板清掃を実施したが、協力団体の人員確保の都合により作業日が一日順延となり、クラブ会員の参加者が少なくなった。					
  					
新聞、TV等での報道					
なし。					
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,847	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役職	: 社会奉仕委員長
氏名		: 川口 孝文
担当委員会名		: 社会奉仕委員会

事業名	舞鶴トレイル倶楽部等の活動支援				
実施日	2025年7月から2026年6月	↑継続事業の場合	8	年	
実施場所	舞鶴トレイルコース等				
協力団体	舞鶴トレイル倶楽部、舞鶴道遊（まいづらどうゆう）くらぶ				
参加人数	会員	延べ20	名	→ 会員参加率	62 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	事業目的：舞鶴トレイル倶楽部等の活動（①古道・旧道の調査・整備 ②整備したトレイルコースのMAP作成 ③コースを利用したイベント等の企画・実施等）を支援するとともに、ロータリー活動の一環として協働する。 事業内容：舞鶴トレイル倶楽部の活動の支援及びイベントの共催				
事業結果	・実施期間中、舞鶴地域のトレイルコースやハイキングコース、古道等の調査・整備を協働した。 ・2025年11月30日（日）舞鶴市と綾部市にまたがる弥仙山ファミリーハイクの共催を予定していたが、「クマ目撃情報」が全国的に広がっており、舞鶴市でも同様の状況であることに鑑み、共催を取りやめた。なお、事業自体は40数人が参加し予定通り開催され、事故なく終了している。 ・今年度に入り舞鶴市及び近隣市町においては、自治体が後援する「青葉山トレイルマラソン大会」や「あやべ水源の里トレイルラン」が開催されており、クマ対応も含め危険要素を精査し、安全なイベント開催の共催を実施したいと考えている。				
新聞、TV等での報道	  なし。				
事業予算	50,000	円			
事業執行額	50,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員長
 氏 名 : 川口 孝文
 担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	ロータリーの桜保守・整備事業				
実施日	2026年3月18日（水）		↑継続事業の場合	年	
実施場所	主要地方道小倉西舞鶴線（28号）：通称 白鳥街道 森白鳥跨線橋 付近				
協力団体					
参加人数	会員	1	名	→ 会員参加率	3 %
	市民		名		
	その他 会員は設置作業等の立会・確認				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☒ 5.その他				
事業目的及び事業内容	事業目的：市道法面のロータリーの桜並木に看板を設置する。 事業内容：「ロータリーの桜」看板の設置 古くから桜が植樹されていた府道側には「ロータリーの桜」を明示する看板が設置されていた。府道に接続する市道が整備され、そののり面に山桜等を当クラブが植樹した。この新たに植樹した桜も成長したことから、「ロータリーの桜」を明示するために看板2基を設置するもの。				
事業結果	業者により看板を作成、設置した。当クラブの活動を広く市民等にアピールすることができたものと思料する。  				
新聞、TV等での報道	なし。				
事業予算	100,000		円		
事業執行額	122,100		円		
この事業の主な財源 （複数回答可）	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役	職	: 社会奉仕委員長
	氏	名	: 國府 喜久夫
	担 当 委 員 会 名	: 社会奉仕委員会	

事業名	園部駅西口花壇の花植替え		
実施日	2025. 7. 9 (水) 12. 16 (火)	↑継続事業の場合	年
実施場所	JR園部駅西口		
協力団体	京都府立農芸高等学校、京都聖カタリナ高等学校		
参加人数	会員 18 名 → 会員参加率 %	市民 名	
	その他 生徒 7名		
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他		
事業目的及び事業内容	駅の利用者に気持ちよく利用していただけるように、年2回花植えをしています。京都府立農芸高等学校の生徒さんたちが育てられた花苗を、京都聖カタリナ高等学校IACの皆さんと一緒に植えました。また配色バランスや植え方などは、京都府立農芸高校の生徒様に教わりながら植えました。		
事業結果	通勤、通学で駅を利用される方に、ほんのすこしの安らぎを与えられており、ポイ捨ても少なくなっているように感じる。また、京都聖カタリナ高等学校と京都府立農芸高等学校の生徒さんと共同で作業をしたので、両校生徒の交流もでき、有意義な活動となった。		
			
事業予算	50,000	円	
事業執行額	42,750	円	
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他		

報告者	役職	: 社会奉仕委員長
	氏名	: 國府 喜久夫
	担当委員会名	: 社会奉仕委員会

事業名	献血活動				
実施日	2025.10.30(木)、2026.2.16(月)		↑継続事業の場合	42	年
実施場所	京都建築大学校 京丹波町役場				
協力団体	南丹市				
参加人数	会員	19	名	→→ 会員参加率	86 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☒ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容					
今年度2回の献血活動を行いました。健康に感謝し、簡単にできる奉仕活動である、「献血活動」を住民に皆様に周知し、献血数を確保する事を目的として開催。					
事業結果					
事前に会員事業所や家族にも声かけをし、何とか採血数を確保出来ました。今後の課題としては開催場所、開催時間等、人が集まる時間、場所を実施検討していくのが今後の課題。					
 					
新聞、TV等での報道					
地元のケーブルテレビで献血実施日の案内をし、対象の方地域に新聞折込み広告をしました。					
事業予算	100,000		円		
事業執行額			円		
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者 役 職 : 社会奉仕委員

氏 名 : 岩井正和

担当委員会名 : 社会奉仕委員会

事業名	クリーン宇治運動				
実施日	2026. 3. 1、(2025. 11. 9、2026. 6. 7→雨天中止) 年				
実施場所	宇治川右岸堤防(宇治橋以南～菟道丸山地先)				
協力団体	宇治青年会議所、宇治商工会議所				
参加人数	会員	10	名	→ 会員参加率	33 %
	市民		名		
	その他				
事業分野	☐ 1.人間尊重 ☐ 2.地域発展 ☒ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	社会奉仕活動の一環として、宇治市の代表的景観である宇治川周辺を清掃し、市民はもとより観光客への環境改善を目的とする				
事業結果	3回開催しましたが2回雨天の為、実施できませんでした。 安全に配慮しながら無事に清掃活動ができました。 クラブ内での参加人数減少が目下の悩みです。				
新聞、TV等での報道					
	クリーン宇治運動は地元紙「洛タイ新報」に掲載				
事業予算	10,000	円			
事業執行額	10,000	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☐ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☒ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

報告者	役	職	:	会長
	氏	名	:	安井 克典
	担 当 委 員 会 名	:	社会奉仕委員会	

事業名	年末餅つき大会				
実施日	2025年12月20日		↑継続事業の場合	年	
実施場所	社会福祉法人宇治東福祉会ワークセンター宇治作業所				
協力団体	ワークセンター宇治作業所父母の会				
参加人数	会員	8	名	→ 会員参加率	24 %
	市民	200	名		
	その他				
事業分野	☒ 1.人間尊重 ☒ 2.地域発展 ☐ 3.環境保全 ☐ 4.共同奉仕 ☐ 5.その他				
事業目的及び事業内容	障害者支援施設社会福祉法人宇治東福祉会にて、毎年恒例の年末の福利厚生を兼ねた事業として、餅つき大会と豚汁の炊き出しを開催して来たが、コロナ禍で、中止が続き、この度入所者を中心に再開を切望される中、以前のようなボランティアの支援がなく、当クラブが協力支援することで再開実現のため、事業を計画致しました。				
事業結果	当日は、雨の予報でしたが、晴天となり施設で生活・通所する生徒や利用者が、自ら餅をつくり、できたての餅を食べることで幸福感や皆で協力して餅つきができたという達成感を感じてもらうことができ、今後の生きていく上での糧にしてもらえ、また、その御家族、職員の労をねぎらい、そのお互いの関係づくりにも貢献することができました。				
新聞、TV等での報道	京都府南部の地方紙「ラクタイ新報」次の日に掲載していただきました。				
事業予算	334,792	円			
事業執行額	334,792	円			
この事業の主な財源 (複数回答可)	☒ 地区補助金 ☐ グローバル補助金 ☐ クラブ資金 ☐ クラブ以外からの寄付 ☐ その他				

国際ロータリー第 2650 地区
2025-26 年度 社会奉仕委員会

諮問委員・パストガバナー	佐竹 力總	(京都 RC)
委員長	宮倉 靖幸	(五條 RC)
副委員長	桐木 孝和	(京都洛西 RC)
副委員長	小牧 靖彦	(京丹後 RC)
委員	藤井 弘実	(近江八幡 RC)
委員	市原 洋晴	(宇治 RC)
委員	木村 元	(長浜東 RC)
委員	松村 美貴	(福井フェニックス RC)
委員	大島 國裕	(奈良 RC)
委員	寺本 光宏	(福井 RC)
委員	八木 悠祐	(京都北 RC)
委員	山崎 功詔	(京都西 RC)